

二階俊博自民幹事長が帯で叱咤激励

大下英治が、噂の知事候補 増山壽一の半生本

作家

元経産省局長

今年2月、元道経産省局長の増山壽一氏の半生本が制作された。著者はノンフィクション作家の大下英治氏。表紙の帯では、二階俊博自民党幹事長が「増山頑張れ！」とエールを送る。増山氏といえば、来年知事選の、噂の候補の一人。深謀遠慮をめぐらしての行動なのか。

著書は「夜明け前」という意味深なタイトル。親交のある大下氏が数日間をかけて増山氏を取材。



生い立ち、通商産業省（現・経産省）の官僚時代、そして2016年の参院選全国比例区落選までを綴っている。ページ数も約300あり、なかなかのボリュームだ。増山氏が外務省在フランス大使館で勤務していた頃、経産産大臣だった二階氏が同国を訪問。両者はこのとき初めて会った。その後、二階氏が経産大臣に再登板し、エネルギー問題を担当していた増山氏との関係が密になった。本著では、今後の政治活動の中心となる地域を北海道にするとしている。

その上で、最後の「北海道を世界の宝に！」という項で、こう書かれている。「次の闘いは、まだ見ええない。しかし、二度と失敗はしない。増山を支えてくれる人たちは全国に散らばっている。とりわけ北の大地に住む方たちは、増山の志に共鳴し、力強い支援を送ってくれている。ぜひ、この大地を日本の、そして、世界の宝にしたいという強い思いを抱き、動き始めている…」

(前田)

書籍の表紙と大下英治氏(円内)



増山壽一氏